

教員氏名	内田将平	職位	助教
最終学歴	名古屋市立大学大学院人間文化研究科博士前期課程修了		
学位	修士（人間文化）		
役職		委員会	全学学生委員会、ゼミ委員会、実習委員会
担当科目	<p style="text-align: center;">教育の方法 教育課程論 教育実習指導 I 基礎演習 I・II 総合演習 II A・B 卒業研究演習 I・II</p>		
教科書・教材・教育方法の実践例	<p>1. Microsoft 社の Teams を用いたオンライン講義 2. e ラーニングプラットフォーム Moodle の活用</p>		
教育研究業績	<p>1. 中坪史典・山下文一・松井剛太・伊藤嘉余子・立花直樹編（2021）『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』ミネルヴァ書房。</p> <p>2. 内田将平（2020）「現代ドイツの幼児期のカリキュラムにおける自己形成アプローチの意義—ノルトライン・ヴェストファーレン州 2003 年版・2016 年版の検討を通して—」国際幼児教育学会編『国際幼児教育研究』Vol. 27, pp. 105-122（査読あり）。</p> <p>3. UCHIDA, Shohei (2021). Aesthetic Bildung of Gerd. E. Schäfer : A Pedagogical Significance of the Experience of the Pathos in ECEC. The 42nd Annual Conference of the International Association of Early Childhood Education, <i>Abstract book</i>, pp.159-162.</p> <p>4. UCHIDA, Shohei (2019). How does the German ECEC teachers understand the national curriculum? PECERA (Pacific Early Childhood Education Research Association) 20th international Conference “Childhood of Tomorrow” . <i>Abstract book</i>, p. 243-244.</p> <p>5. 内田将平（2021）「ドイツにおける保育の現状と質の維持について：乳児保育の視点から—ドイツのコロナ禍の保育について—」『日本保育学会第 181 号会報』, p. 4-5（招待あり）。</p> <p>6. 内田将平（2021）「歴史研究の責務を実感」『幼児教育史学会第 31 号会報』, p. 5-6（招待あり）。</p>		
所属学会	日本教育学会、日本教育方法学会、教育哲学会、日本保育学会、日本乳幼児教育学会、国際幼児教育学会、幼児教育史学会、中部教育学会		